

別記様式3

特定プログラム説明書

開設学部等名〔ダイバーシティ研究センター〕

プログラムの名称	(和文) ダイバーシティ特定プログラム
	(英文) Diversity & Inclusion Program
1. 概要	<p>社会には多様な人々が存在する。彼らはさまざまな点でたがいに異なっているが、そこにある差異とは、性別や年齢、障がいの程度といった、表層的なものだけではない。成育環境、職業、専門性、セクシュアリティ、政治的な信条など、ある程度知りあってみて明らかになるような差異もある。このように多様な人々が存在している状態を「ダイバーシティ」と呼ぶ。</p> <p>現在、社会では、差異から生じる差別や対立をなくす努力が続けられている。しかし、差異や多様性は、むしろ社会を活性化し、あらたな価値を創造することにもつながりうる。そこでは、それぞれ異なる人々が個性を發揮し、高次の調和が実現されるだろう。このような状態を「インクルージョン」と呼ぶ。</p> <p>本特定プログラムでは、さまざまに異なる一人ひとりが生きやすい「インクルーシブ」な社会を構築するための方法を学ぶ。研究が比較的進んでいる三つの差異の領域①ジェンダーとセクシュアリティ、②障がいと病と老い、③民族と文化、を設定し、それぞれの差異と差別の構造や歴史を学ぶ。さらに、多様な立場と利害がときに対立するなかで、人々が尊重しあい、ともに繁栄できるような社会を実現する方法を学ぶ。</p>
2. 到達目標	<ul style="list-style-type: none">・ダイバーシティとインクルージョンの基礎的な考えを理解する・一つ以上の差異の領域について、差異の構造を理解する・多様な人々が生きやすい「インクルーシブ」な社会を実現する方法について、自分なりの視座を獲得する
3. 登録時期	2年次前期をプログラムへの登録開始時期とする。なお、プログラムを登録する前に修得した授業科目の単位を修了要件単位に算入することができる。
4. 登録要件	履修計画説明書（学習目標と履修計画を含む）を提出すること。プログラム担当教員会で内容不十分と判断された場合は登録を認めない。
5. 受入上限数	受け入れ上限数は、20名程度とする。希望者が多数の場合には、履修計画説明書の内容により、プログラム担当教員会が受け入れ可否を判断する。
6. 授業科目	<p>※授業科目は、別紙の履修表を参照すること。</p> <p>※授業内容は、各年度に公開されるシラバスを参照すること。</p>
7. 修了要件	「ダイバーシティ概論（2単位）」および「ダイバーシティ演習（1単位）」は必修とし、別紙履修表に記載された選択科目から8単位以上履修し、合計11単位以上を取得すること。選択科目は、「A.ダイバーシティを考える科目群」の中から1科目以上、「B.領域別科目群」の①②③いずれか一つの領域を選択し、領域内の3つの分野それぞれから1科目以上を履修すること。なお、選択科目について、上記条件によらず自由に選択

(自主編成)することも可能とするが、履修計画説明書に自主編成とする理由と目的を詳述すること。

8. 責任体制

ダイバーシティ研究センター長大池真知子教授を責任者とし、ダイバーシティ研究センターの櫻井里穂准教授ならびに北梶陽子助教の3名でプログラム担当教員会を構成する。

9. 既修得単位等の認定単位数等

(1) 他大学等における既修得単位等の認定単位数等

既修得単位等の認定は行わない。

(2) 広島大学における既修得単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)の認定単位数等

既修得単位等の認定は行わない。

【特定プログラム履修に関する注意事項】

○主専攻プログラムの授業時間割の関係で、登録した特定プログラムの授業科目履修が制限されることがある。

○特定プログラムで開設されている授業科目も、本学共通の平均評価点(GPA)の計算対象に含まれる。

ダイバーシティ特定プログラム履修表

<必修科目> 要修得単位数：3

授業科目名	単位数	履修年次 (開講期)	開設部局	備考
ダイバーシティ概論	2	1年次(前期・集中)	教養教育科目	
ダイバーシティ演習	1	3年次(通年・集中)	ダイバーシティ研究センター	

<選択科目> 要修得単位数：A+Bの合計で8単位以上

A. ダイバーシティを考える科目群

以下から1科目以上を選択すること。

授業科目名	単位数	履修年次 (開講期)	開設部局	備考
Peace and Coexistence I	1	2年次(1T)	総合科学部国際共創学科	
Peace and Coexistence II	1	2年次(2T)	総合科学部国際共創学科	
集団力学	2	3年次(1T)	総合科学部総合科学科	
現代アクセシビリティ研究	2	2年次(2T or 9月集中)	アクセシビリティセンター	
Issues in International Sociology	1	2年次(1T)	総合科学部	どちらか一方の単位しか認められない。
国際社会学	1	2年次(2T)	総合科学部	
地域環境社会論	2	2年次(4T)	総合科学部総合科学科	令和6年度開講無
社会福祉概論I	1	2年次(1T)	総合科学部	連続した2科目。両方も受講すること
社会福祉概論II	1	2年次(1T)	総合科学部	
Conflict Resolution I	1	2年次(3T)	総合科学部国際共創学科	
Conflict Resolution II	1	2年次(4T)	総合科学部国際共創学科	
政治学原論	2	2年次(2T)	法学部法学科昼間コース	どちらか一方の単位しか認められない
政治学原論	2	2年次(前期)	法学部法学科夜間主コース	

B. 領域別科目群

以下1～3のいずれかの領域を選択し、領域内の(i)～(iii)全ての分野から1科目以上を履修すること。

(※1) 隔年開講の科目を示す。開講年度に注意すること。

(※2) 開講期末定の科目については、シラバス、開設部局の授業時間割等で確認すること。

①ジェンダーとセクシュアリティの領域

分野	授業科目名	単位数	履修年次 (開講期)	開設部局	備考
(i) 思想・人間	ジェンダー学I	1	2年次(1T)	総合科学部	
	ジェンダー学II	1	2年次(2T)	総合科学部	
	学問とジェンダー (※1)	2	2年次(3,4T)	総合科学部総合科学科	
	親密性の人類学演習	2	3年次(3T)	総合科学部総合科学科	
	マイノリティ社会文化論	2	2年次(2T)	総合科学部総合科学科	
	社会生態人類学 (※1)	2	2年次(2T)	総合科学部総合科学科	令和6年度開講無
	Anthropology of the Contemporary World I	1	2年次(3T)	総合科学部国際共創学科	
	Anthropology of the Contemporary World II	1	2年次(4T)	総合科学部国際共創学科	
	医療社会史	2	2年次(3T)	総合科学部総合科学科	
(ii) 社会・制度	マイノリティ社会文化論演習	2	3年次(3T)	総合科学部総合科学科	
	Family DiversityI	1	2年次(4T)	総合科学部国際共創学科	
	Family DiversityI I	1	2年次(4T)	総合科学部国際共創学科	
	生活経営概論	2	1年次(後期・集中)	教育学部	
	Japanese Society and Gender Issues	2	3年次(3T)	森戸国際高等教育学院	
	法社会学応用	2	3年次(1T)	法学部法学科昼間コース	どちらか一方の単位しか認められない
	法社会学応用	2	2年次(前期)	法学部法学科夜間主コース	
	健康・ジェンダー・権力の人類学	1	2年次(2T)	総合科学部	どちらか一方の単位しか認められない
	Anthropology of Health, Gender and Power	1	2年次(1T)	総合科学部	
(iii) 関係・発達	社会・集団・家族心理学	2	2年次(2T)	教育学部	
	人間発達と家族	2	2年次(3T)	教育学部	
	集団力学	2	3年次(1T)	総合科学部総合科学科	①iiiに新規追加
	人間発達学	2	1年次(後期)	医学部保健学科看護学専攻	
	母性看護学概論	1	1年次(3T)	医学部保健学科看護学専攻	
	小児看護学概論(※2)	2	2年次(前期)	医学部保健学科看護学専攻	
リプロダクティブヘルスとセクシュアリティ	1	1年次(4T)	医学部保健学科看護学専攻		

②障がいと病いと老いの領域

分野	授業科目名	単位数	履修年次 (開講期)	開設部局	備考
(i) 人間思想	医療人類学	2	2年次(3T)	総合科学部総合科学科	
	生命倫理学	2	2年次(1T)	総合科学部総合科学科	
	成人看護学概論	2	2年次(前期)	医学部保健学科看護学専攻	
	老年看護学概論	2	2年次(2T)	医学部保健学科看護学専攻	
	マイノリティ社会文化論	2	2年次(2T)	総合科学部総合科学科	
	医療社会史	2	2年次(3T)	総合科学部総合科学科	
	マイノリティ社会文化論演習	2	3年次(3T)	総合科学部総合科学科	
(ii) 社会・制度	医療経済学1	2	3年次(2T)	経済学部経済学科昼間コース	
	医療経済学2	2	3年次(3T)	経済学部経済学科昼間コース	
	社会福祉学	1	2年次(3T)	医学部保健学科看護学専攻	
	地域保健看護学概論	1	1年次(3T)	医学部保健学科看護学専攻	
	法社会学応用	2	3年次(1T)	法学部法学科昼間コース	どちらか1方の単位しか認められない
	法社会学応用	2	2年次(前期)	法学部法学科夜間主コース	どちらか1方の単位しか認められない
	健康・ジェンダー・権力の人類学	1	2年次(2T)	総合科学部	どちらか1方の単位しか認められない
Anthropology of Health, Gender and Power	1	2年次(1T)	総合科学部		
達(iii) 関係発達	健康福祉学	2	2年次(3T)	総合科学部総合科学科	
	特別支援教育支援技術総論	2	3年次(3T)	教育学部	
	人間発達学	2	1年次(後期)	医学部保健学科看護学専攻	
	精神看護学概論	2	2年次(3T)	医学部保健学科看護学専攻	
	障害者支援アクセシビリティ概論	2	1年次(後期・集中)	アクセシビリティセンター	

③民族と文化の領域

分野	授業科目名	単位数	履修年次 (開講期)	開設部局	備考
(i) 人間思想	文化論研究	2	2年次(3T)	総合科学部総合科学科	
	Anthropology of Globalization I	1	2年次(1T)	総合科学部国際共創学科	
	Anthropology of Globalization II	1	2年次(2T)	総合科学部国際共創学科	
	東アジアの歴史と文化講義	2	2年次(前期)	文学部	基本的に両方同時に履修すること。
	東アジアの歴史と文化演習	2	2年次(前期)	文学部	
	マイノリティ社会文化論	2	2年次(2T)	総合科学部総合科学科	
	社会生態人類学 (※1)	2	2年次(2T)	総合科学部総合科学科	令和6年度開講無
	Anthropology of the Contemporary World I	1	2年次(3T)	総合科学部国際共創学科	
	Anthropology of the Contemporary World II	1	2年次(4T)	総合科学部国際共創学科	
(ii) 社会・制度	マイノリティ社会文化論演習	2	3年次(3T)	総合科学部総合科学科	
	地域社会を学ぶ (表記変更) Learning Hiroshima: projects with Japanese students	2	1年次(1T)	教養教育科目	
	Multiculturalism in Japan	1	2年次(1T)	総合科学部	どちらか一方の単位しか認められない
	日本のマイノリティ	1	2年次(2T)	総合科学部	
	Glocal Leadership Development: Practicum I	1	2年次(前期・後期)	森戸国際高等教育学院	令和6年度開講無
	Glocal Leadership Development: Practicum II	1	2年次(前期・後期)	森戸国際高等教育学院	令和6年度開講無
	健康・ジェンダー・権力の人類学	1	2年次(2T)	総合科学部	どちらか1方の単位しか認められない
Anthropology of Health, Gender and Power	1	2年次(1T)	総合科学部		
(iii) 関係発達	欧米大陸間文化研究	2	2年次(前期)	総合科学部総合科学科	
	Multiculturalism in Education	2	1年次(3T)	教養教育科目	令和6年度開講無
	社会行動科学 (※1)	2	2年次(3T)	総合科学部総合科学科	
	Cultural Psychology I (※1)	1	2年次(2T)	総合科学部国際共創学科	
	Cultural Psychology II (※1)	1	2年次(2T)	総合科学部国際共創学科	
	Cross-cultural Negotiation I	1	2年次(3T)	総合科学部国際共創学科	
	Cross-cultural Negotiation II	1	2年次(4T)	総合科学部国際共創学科	
異文化接触と文化学習	2	2年次(1T)	教育学部		

<関連科目>

必修・選択科目ではないが、本特定プログラムに関連した内容を学べるため、履修を推奨する。

関連領域	授業科目名	単位数	履修年次 (開講期)	開設部局	備考
①	ジェンダーと社会	2	1年次(1T)	教養教育科目	
②	障害学生支援ボランティア実習A	1	1年次(1Tor3T・集中)	教養教育科目	
②	人の健康と社会	2	1年次(4T)	教養教育科目	
②	現代社会学B	2	1年次(3T,4T)	教養教育科目	令和6年度開講無
③	文化人類学A	2	1年次(1Tor2T)	教養教育科目	
③	文化人類学B	2	1年次(3Tor4T)	教養教育科目	
③	文学の世界	2	1年次(3T)	教養教育科目	